

住んで 楽しい古井のまちを目指して

「古井の未来をつくる研修会」を実施しました！

7月15日（土）に総合福祉会館のホール及び森山団地集會場で、「古井の未来をつくる研修会」を行いました。

今回の研修会は、古井まちづくり協議会と美濃加茂市社会福祉協議会が主催となり、高齢化が進む社会の中で、地域でのささえあいの仕組みを学び、今後の活動のきっかけになることを目的として開催しました。

講師には、地域でのささえあい活動に10年以上取り組んでみえる各務原市八木山地区社協の事務局長清水孝子さんを迎え、取り組み内容について紹介いただきました。

講演では、庭の草取りやベッドの移動、照明機器の取り替えなど取り組みを紹介していただき、それに関わる利用者や活動者のお話を伺うことができました。活動は本当に多岐に渡り、生活の困りごとを相談すれば、地域の人達で解決できる仕組みが八木山団地にはありました。「できないことはしてもらう、できることは人にもして差し上げる」このような気持ちで、利用者と活動者がつながり、ささえあう輪が地域に広がっていることに感銘を受けました。

講演が終わった後には、各会場で参加者同士で意見交換を実施しました。講演を聞いて自分たちの地域でも取り組めそうなこと、地域で安心して暮らし続けていくためにはどんなことが大切かなどといった視点で話し合いを行いました。会場の参加者からは、「どんなことでも“人のためになる”そして“自分のためでもある”と思った」「地域とつながりがない人が近所にもいるので、声をかけ、つながりを作っていきたい」「ささえあい移送の事例紹介もあったが、今後の課題は車に乗れなくなってからどうしていくかということ」などの意見を聞くことができました。

今回の研修会を通して、参加者の皆さんのささえあいの気持ちが高まったと実感しております。古井まちづくり協議会としても、今回の研修会だけで終わらず、地域福祉をテーマに、地域の問題は何かを皆さんで認識し、課題解決のために具体的に何ができるかを考え、実際に取り組むといった動きを、市社会福祉協議会と協力して進めていきたいと考えております。人と人とのつながりを大切にしつつ、できることから取り組みを始めていけると良いですね。

また、今回の研修会では、森山団地集會所をサテライト会場として、福祉会館の講演の様子をオンラインで繋ぎ、離れた場所でも講演を聞くことができました。このようにオンライン技術も今後有効に活用し、より多くの人に地域について考えるきっかけづくりを進めていきたいと考えております。

【当日の会場の様子】

